

三重大学（大学リレー熟議②）

キャリア形成・能力開発の授業の一環として、地域・学校・大学等が抱える課題とその未来をテーマに熟議

【日 時】平成23年7月16日（土）

【テーマ】対話と協働～未来に向けて～

- （サブテーマ）A. 教育：「確かな学力」と「豊かな人間性」を備えるための学校における方策づくり
B. 就労：職場で求められる人になるために今すべきこと
C. 地域：地域の人々と絆を深めるために私たちができること

【参加者】119名（9～10名×13班）

※三重大学学生・教職員、学校教員、三重県、地元企業、一般参加者、文部科学省職員等

【プログラム】

- 13:00 開会（小ホール） 学生実行委員長 津田真美
13:03 主催者あいさつ 三重大学長 内田淳正
13:10 文部科学省あいさつ 文部科学副大臣 鈴木寛
13:25 三重県あいさつ 三重県副知事 安田敏春
13:30 会場移動・グループワークの準備（ホワイエ）
13:40 熟議（前半）スタート
※ファシリテーターの誘導で、テーマに関する課題を各自が自由に書き出す
14:50 休憩
15:00 熟議（後半）スタート（ホワイエ）
※全員で議論して3～5つの重要課題を選び、それに対する提言を出し合う。
16:00 小ホールへ移動
16:10 全体発表・提言スタート（司会：学生実行委員長）
17:00 全体の講評 文部科学副大臣 鈴木 寛
17:10 今後の全国縦断熟議の展開について
文部科学省生涯学習政策局長 板東久美子
17:20 閉会のことば 三重大学理事（教育担当） 田中晶善
17:25 全体終了 学生実行委員長 津田真美
.....
17:30～19:00 意見交換会・交流会

地域と共生する大学づくりのための全国縦断熟議 文部科学省 主催
熟議 2011 in 三重大学 加勢
テーマ「対話と協働～未来に向けて～」

近年、産業界が人材確保のために、インターンシップ、早期採用等の積極的な取組を通じて、地域ではコミュニケーション能力や教育力が問われています。この熟議で「教育・就労・地域」の3つに関する課題解決への取組も、三重から全国へ発信します。皆さん、ぜひご参加ください。

日 時 平成23年7月16日（土）
13:00～17:00（開会：13:00）

場 所 三重大学 三環ホール（小ホール）
〒514-8501 三重県津市東三環東1-1-1

プログラム
13:00～13:05 開会 学生実行委員長 津田真美
13:05～13:10 主催者あいさつ 三重大学長 内田淳正
13:10～13:15 文部科学省あいさつ 文部科学副大臣 鈴木寛
13:15～13:25 三重県あいさつ 三重県副知事 安田敏春
13:30～13:40 会場移動・グループワークの準備（ホワイエ）
13:40～13:50 熟議（前半）スタート
※ファシリテーターの誘導で、テーマに関する課題を各自が自由に書き出す
14:50～15:00 休憩
15:00～15:10 熟議（後半）スタート（ホワイエ）
※全員で議論して3～5つの重要課題を選び、それに対する提言を出し合う。
16:00～16:10 小ホールへ移動
16:10～16:20 全体発表・提言スタート（司会：学生実行委員長）
16:20～16:30 全体の講評 文部科学副大臣 鈴木 寛
16:30～16:40 今後の全国縦断熟議の展開について
文部科学省生涯学習政策局長 板東久美子
16:40～16:50 閉会のことば 三重大学理事（教育担当） 田中晶善
16:50～17:00 全体終了 学生実行委員長 津田真美

【お問い合わせ】 三重大学 生涯学習課 津田真美 電話 059-231-2111
【申込】 A 参加費 0円（B 参加費 1,000円） C 参加費 0円
【申込】 A 参加費 0円（B 参加費 1,000円） C 参加費 0円
【申込】 A 参加費 0円（B 参加費 1,000円） C 参加費 0円



議論の内容(抜粋)

◆A. 教育：

- ・教員が十分に子どもと向き合えず力が発揮できていない、家庭で社会性が育てられていない、学ぶ意欲が不足など
 - 学校・家庭・地域の一層の連携・協力が必要。「PTRA制度」を創設（P=親、T=先生、R=Region、A=コミュニケーション）し、家庭と教育現場を責任を持ってつなぐサポートを可能にする法整備が必要
 - 学ぶ楽しさを創り、循環する教育モデルの実現
 - 参加型の教育コミュニティをつくり情報の共有化を図る
 - 「みんな力」、「人間力」の必要性から、学校づくりへの積極的参画や産学官の連携強化 など

◆B. 就労：

- ・コミュニケーション力、応用力、積極性、責任感などが不足、働くことに対するイメージにギャップ
 - 卒業まで中長期的に社会体験活動を行うことが必要、海外企業へのインターンシップの実現
 - 大学に地域交流委員会(仮称)を設置、ボランティアの義務化 など

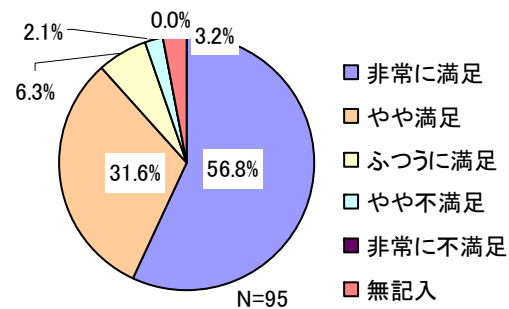
◆C. 地域：

- ・地域資源が県内外に十分認識されていない、住民同士の絆が薄い
 - 行政、地域、大学などが一体となって積極的にPRすることが必要（交流の場づくり、観光ルートづくり等）
 - 志(こころざし)会議の開催、魅力あふれる大学づくり など

アンケート結果

※キャリア形成・能力開発の授業教材としても有効であることが証明

参加者の「熟議」に対する満足度： 95%



学生による授業評価と意識や行動の変化

